



2022年6月29日

各位

会社名 株式会社広済堂ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 黒澤 洋史  
(コード番号 7868 東証プライム)  
問合せ先 経営企画部 部長 小嶋 裕史  
電話 (03) 3453-0557

### 上場維持基準の適合に向けた計画書（更新）

当社は、2021年12月22日に、プライム市場の状況維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しておりますが、2022年5月20日に新中期経営計画「中期経営計画2.0（2022-2024）」を公表し、本計画書を更新しましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### ○当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2022年3月31日時点（以下、「基準日」といいます。）におけるプライム市場の上場維持基準への適合条件は、以下の通りとなっており、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出した「流通株式数」「1日平均売買代金」は適合しておりますが、「流通株式時価総額」「流通株式比率」については基準を充たしていません。

当社は、下表のとおり、「流通株式時価総額」「流通株式比率」に関して、新中期経営計画末日の2025年3月末までに、上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	株主数	流通株式	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金	時価総額
当社の状況 (移行基準日時点) ※1	-	98,725単位	95.4億円	39.6%	1.3億円	-
当社の状況 (2022年3月31日時点) ※2	-	99,614単位	83億円	34.9%	8.9億円	-
上場維持基準	-	20,000単位	100億円	35%	0.2億円	-
計画書に記載の項目	-		○	○※3		-

※1 東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※2 当社が2022年3月31日時点での当社の株式等の分布状況をもとに試算を行ったものです。

※3 流通株式比率について、2022年3月当社試算結果であり、流通株式比率に関する東京証券取引所の審査は2023年3月末を基準日として行われます。

##### ○流通株式時価総額について

当社の基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、上記のとおりとなっており、移行基準日時点に引き続き「流通株式時価総額」については基準を充たしておりませ

ん。

しかしながら、2022年5月20日の新中期経営計画「中期経営計画2.0」の詳細発表後から2022年6月28日時点までの当社の株式最終価格の平均をもとに、当社が算出した2022年6月28日時点の流通株式数に基づく「流通株式時価総額」は、111億円となり、プライム市場の上場維持基準に適合する株価水準となる見込みです。

#### ○流通株式比率について

2021年12月22日の上場維持基準の適合に向けた計画書提出時から、流通株式比率が不適合の見込みとなっております。

2021年12月10日に公表した第三者割当増資により、「流通株式比率」が上場維持基準を下回る見込みでございます。

現在、株主、金融機関に売却を打診する取組みを実施しており、すでに承諾を得ている状況を踏まえると、2022年5月末時点での当社算出流通株式比率34.9%からさらに36.0%に改善、向上する予定です。

当社は、2025年3月末（第60期事業年度末）までに、移行基準日及び基準日において適合していなかった「流通株式時価総額」の更なる向上を目指すとともに、「流通株式比率」を含む上場維持基準を安定的に充たすための各種取組みを進めてまいります。

#### ○上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

添付しております「上場維持基準適合に向けた計画書（更新）」をご参照ください。

なお、本計画書に記載しております取組みは、当社グループの企業価値向上と持続的成長に資するものであると考えております。

以上



# 上場維持基準適合に向けた計画書 (更新)

2022/6/29

株式会社広濟堂ホールディングス

(証券コード：7868)

# 1. プライム市場上場維持基準の適合状況と計画期間

- 当社のプライム市場の上場維持基準への適合状況は、移行基準日時点に引き続き「流通株式時価総額」「流通株式比率」についてはプライム上場基準を充たしておりません。

	適合基準	移行基準日（2021年6月30日） の適合状況		2022年3月31日時点 の適合状況		当社取組みを踏まえた 2022年3月31日時点 の適合状況 ※4	
株主数（人）	800以上	3,214	○	5,162	○	5,162	○
流通株式数（単位）	2万以上	98,725	○	99,614	○	102,846	○
流通株式時価総額（円）	100億以上	9,544,160,528	×	8,371,352,928	×	8,642,963,744	×
流通株式比率（%）	35%以上	39.6	○	34.9	×	36.0	○
1日平均売買代金（円）	0.2億円以上	139,662,962	○	894,085,511	○	894,085,511	○

※1 東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※2 当社が2022年3月31日時点での当社の株式等の分布状況をもとに試算を行ったものです。

※3 流通株式比率について、2022年3月末時点の当社試算結果であり、流通株式比率に関する東京証券取引所の審査は2023年3月末を基準日として行われます。

※4 純投資目的で保有している旨や、売却打診応諾旨の回答を得た株主の保有分について、流通株式に含めて計算しております。

株主、金融機関に売却や保有方針の変更を打診する取組みを実施しており、その結果すでに承諾を得ている状況を踏まえると、2022年3月末時点での当社算出流通株式比率34.9%から36.0%に改善、向上する見込みです。

# 1. プライム市場上場維持基準の適合状況と計画期間

○当社が算出した2022年6月28日時点の流通株式数に基づく「流通株式時価総額」は以下の通りとなっております。

	適合基準	2022年6月28日時点 の適合状況	
流通株式時価総額（円）	100億以上	11,149,795,020	○

※ 純投資目的で保有している旨や、売却打診応諾旨の回答を得た株主の保有分について、流通株式に含めて計算しております。

当社の2022年3月末時点のプライム市場の上場維持基準への適合状況は、移行基準日時点に引き続き、「流通株式時価総額」については基準を充たしておりません。

しかしながら、同年5月20日の新中期経営計画「中期経営計画2.0」の詳細発表後から2022年6月28日までの当社の株式最終価格の平均をもとに、当社が算出した2022年6月28日時点の流通株式数に基づく「流通株式時価総額」は、111億円となり、プライム市場の上場維持基準に適合する株価水準となる見込みです。

移行基準日において適合していなかった「流通株式時価総額」の更なる向上を目指すとともに、「流通株式比率」を含む上場維持基準を安定的に充たすための各種取組を進めてまいります。

計画期間：2025年3月末（第60期事業年度末 | 「中期経営計画2.0（2022-2024年度）」最終年度）

## 2. 上場維持基準の適合に向けた課題、基本方針及び取組内容

### ○適合に向けた課題

「流通株式時価総額」及び「流通株式比率」の向上

### ○基本方針

1. 「シニア・エンディングナンバー1企業」を目指した新中期経営計画「中期経営計画2.0」の成長戦略に基づく企業価値向上
2. 復配し、株主還元の実施
3. 流通株式数増加を目指した対話促進

### ○今後の取組みについて

✓ 「中期経営計画2.0」に従い、継続的な収益基盤を拡大し「企業価値向上」を実現。

< 「中期経営計画2.0」の概要 >

- ・ 2.1以降を見据えた事業拡大戦略の継続検討 (本資料P15.16.17参照)
- ・ 葬祭周辺領域への提供サービス拡大 (本資料P23.24参照)
- ・ 式場増設による受け入れキャパシティの拡大 (本資料P25参照)
- ・ 葬儀業への進出 (本資料P10.26参照)

## 2. 上場維持基準の適合に向けた課題、基本方針及び取組内容

### ○今後の取組みについて（続き）

<今後の長期展望・検討について>

2022年5月21日実施の「2022年3月期決算および新中期経営計画オンライン説明会」

アーカイブ動画

- ・東京博善「火葬ビジネス」について、東京都以外の地域への進出（動画内27:32～）
- ・東京博善 来場者に向けた様々なコンサルティングサービス提供（動画内30:37～）
- ・東京博善 ファンドスキームを使ったスピーディな成長展開（動画内38:14～）

※上記オンライン説明会のアーカイブ動画は下記URLよりご視聴頂けます。

アーカイブ動画リンク:⇒<https://www.youtube.com/watch?v=C7Hull9Zilw>

- ✓積極的なIR活動を推進し株主との対話を図ると共に、復配や安定的な株主還元を通じ「株主価値」を向上。

<積極的IR活動計画>

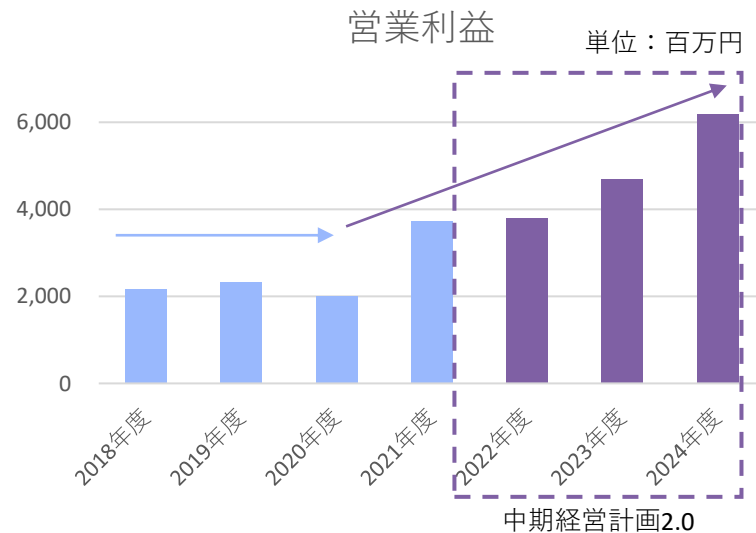
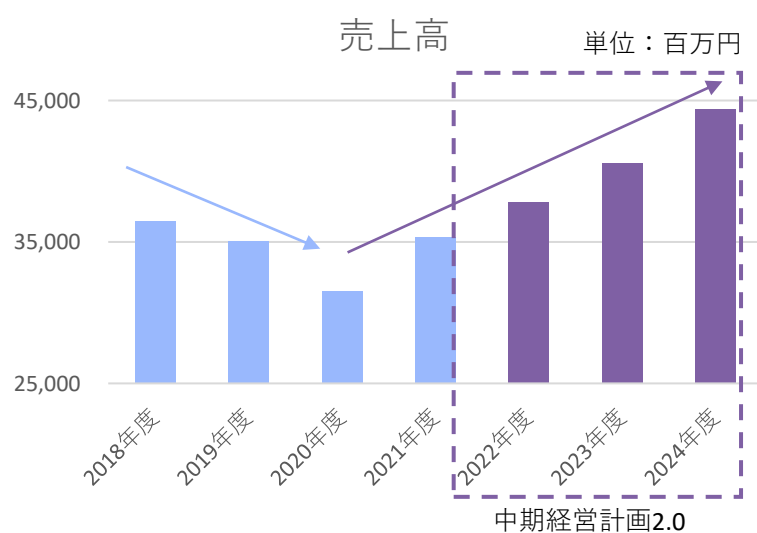
- ・事業活動PR
- ・同業他社との対談の実施
- ・新規事業進捗報告
- ・機関投資家、個人投資家向けの各説明会の実施（地方・海外でも実施予定）

- ✓流通株式比率向上のため、大株主および事業法人・普通銀行との対話を継続

## 2. 上場維持基準の適合に向けた取組内容 (企業価値向上)

### ○「中期経営計画2.0」概要

2022年5月20日、中長期的な企業価値向上を目指し「中期経営計画2.0」を公表いたしました。広濟堂グループの特徴である葬儀業に焦点を当てた計画であり、東京23区内において火葬場を併設する6式場を運営する国内唯一無二の事業環境を活かし、広濟堂グループとしてご葬家により良いサービスの提供を目指して参ります。定量的には、2024年度における売上高444億円、営業利益62億円を経営陣のコミットメントとし、企業価値の向上に努めて参ります。詳細につきましては、後記の添付資料をご覧ください。





## 2. 上場維持基準の適合に向けた取組内容 (株主価値向上・流通株式比率向上)

### ○2022年度 配当予想

- ✓ 「中期経営計画2.0」に基づき、2022年度から復配（配当性向15%）致します。
- ✓ 2023年度以降は配当性向30%以上を継続し、安定的な株主還元を実現して参ります。

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
2021年度 実績	0円00銭	0円00銭	0円00銭
2022年度 予想 (2022年5月16日時点)	7円75銭	7円75銭	15円50銭

### ○流通株式比率向上

- ✓ 流通株式比率向上のため、政策保有株式の保有方針見直しによる政策保有株式の保有先および事業法人・普通銀行との対話により、市場売却を促し流通株式時価総額の向上に努めてまいります。

## 2. 上場維持基準の適合に向けた取組内容 (株主価値向上)

### ○積極的IR活動の実施

広濟堂グループは潜在株主を含む投資家のみなさまとの対話の重視等、積極的な株主価値向上策に取り組んで参ります。

積極的なIR活動を担う新部署を新設し、2022年5月21日の決算・新中期経営計画の説明会のオンラインでのライブ配信実施等（\*1）、今後もより多くの投資家・株主の皆様にご注目して頂けるよう、様々なイベントや情報発信等を企画・準備しております。

8月以降は機関投資家、個人投資家向けの各説明会（地方・海外でも実施予定）等を順次実施する予定です。



広濟堂ホールディングス  
2022年3月期決算説明  
新中期経営計画2.0  
ご説明および質疑応答ライブ配信動画

2022年5月21日配信実施

 KOSAIDO GROUP  
KOSAIDO HOLDINGS



広濟堂グループは  
シニア・エンディング  
ナンバー1企業になります

中期経営計画2.0 (2022-2024)  
証券コード：7868

1	長期展望「シニア・エンディング領域」事業説明
2	前期中期経営計画の振り返り
3	中期経営計画 2.0
4	事業セグメントの長期展望
5	成長イメージ「中期経営計画 2.0」
6	財務計画「連結」
7	財務事業の伸長
8	事業セグメントサマリー（既存3事業）
9	まとめ

 KOSAIDO HOLDINGS  KOSAIDO HOLDINGS

\*1 実施致しましたライブ説明会につきましては、アーカイブ動画を公開しており下記URLよりご視聴頂けます。

【広濟堂HD】 2022年5月21日発表 決算説明会・中期経営計画2.0 ライブ配信アーカイブ動画リンク：

⇒<https://www.youtube.com/watch?v=C7Hull9Zilw>





添付資料

広濟堂ホールディングス  
中期経営計画 2.0 (2022－2024)

2022/5/20

広濟堂グループは

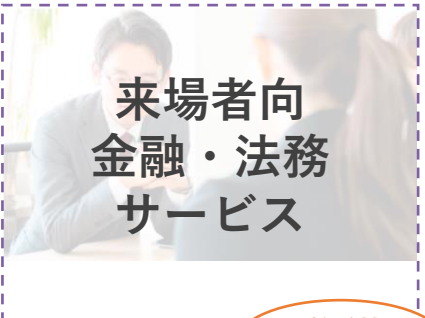
シニア・エンディング  
ナンバー1企業になります

# 1-01 長期展望 | シニア・エンディング領域 事業展開

東京博善  
(火葬場運営・式場提供)



実施



準備



準備



準備

 グランセレモ東京

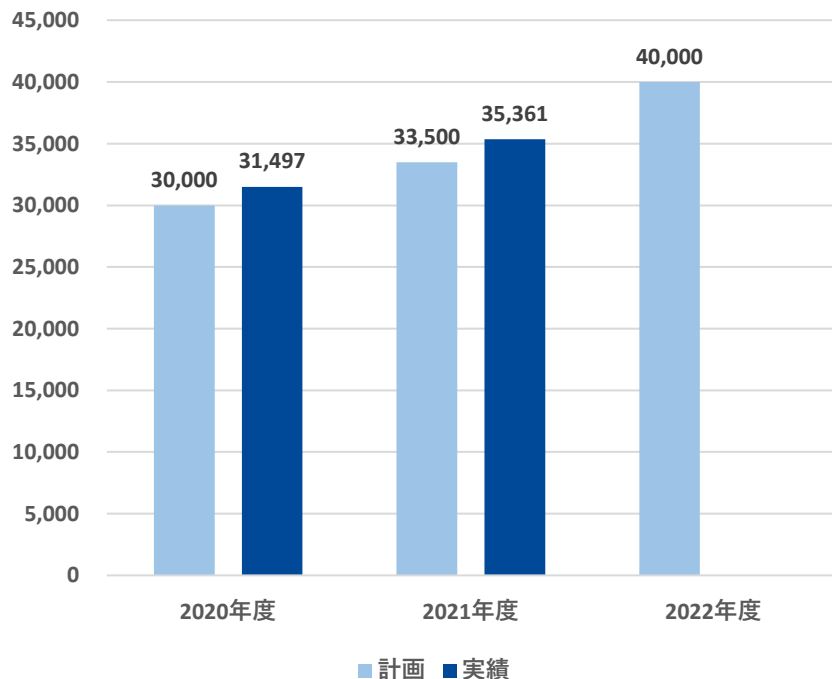
 広濟堂ライフウェル

今回中計のターゲット

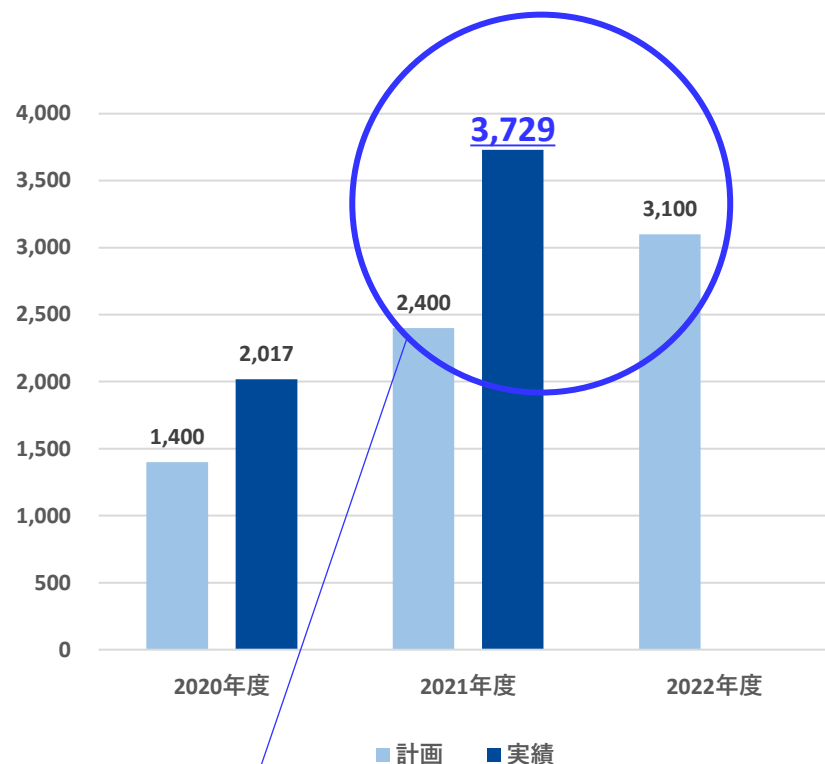
## 2-01 前回中期経営計画の振り返り① | 連結業績

単位：百万円

### 売上高



### 営業利益



営業利益は、2022年度目標を前倒しで達成

※ 2020年度および2021年度の計画は、該当年度の業績予想値です

## 改革成功！

- ✓ 減損の終了
- ✓ 東京博善100%子会社化
- ✓ HD化による全体財務の統合

## 基本方針

1. 葬儀業に進出します
2. 「超高齢化社会」銘柄への脱皮
3. 復配し、株主還元の実施を向上を実施します



# 東京博善の強み

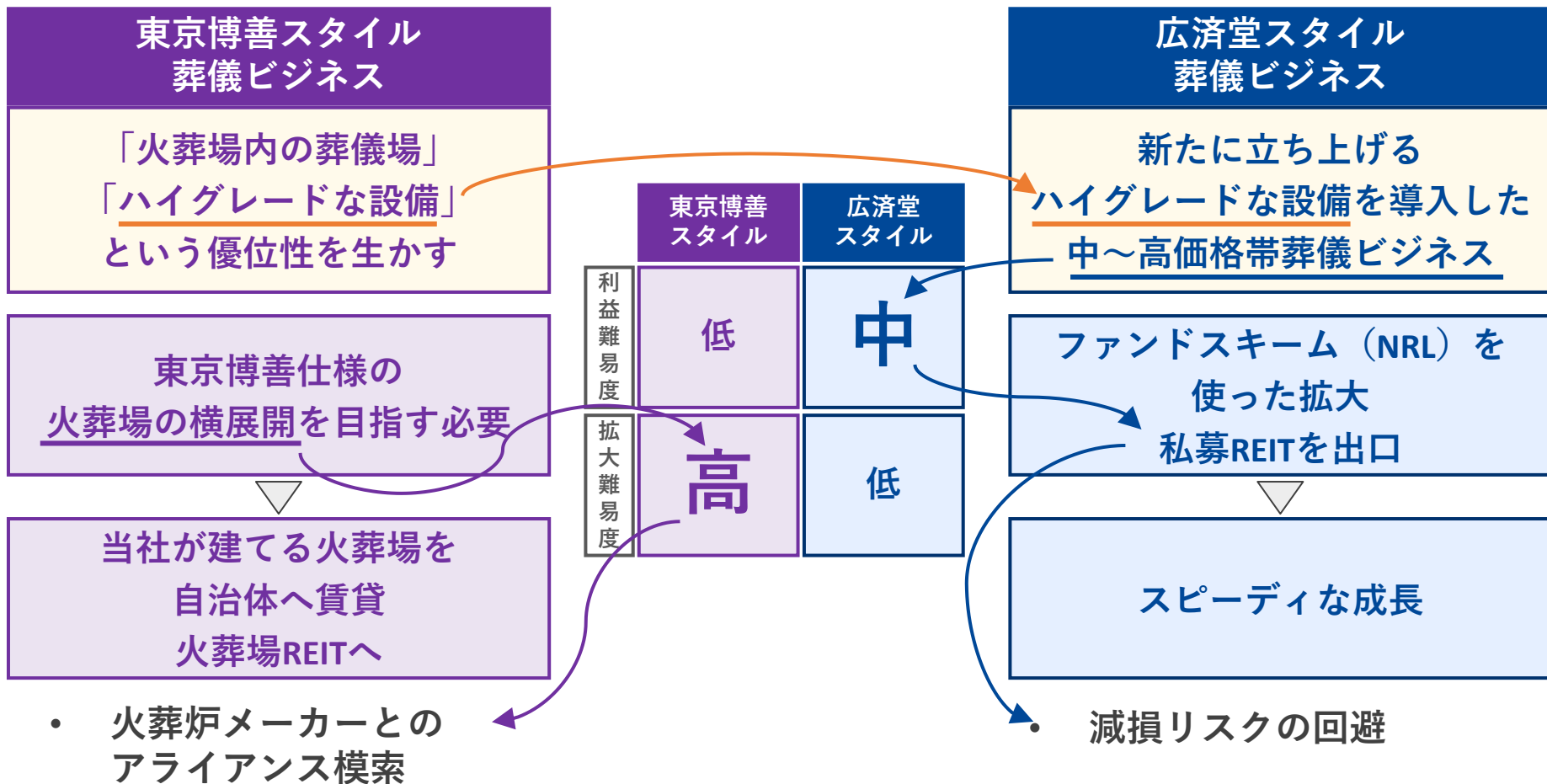
- ・ 火葬と葬祭会場が近い
- ・ ハイグレードな設備



都内における優位性

# 4-01 葬祭セグメントの長期展望①

## 葬儀ビジネスの拡大戦略



当期から 広済堂ライフウェル、および  
 グランセレモ東京 が既存敷地内で開始

## 4-02 葬祭セグメントの長期展望②

①

既存敷地内の葬儀事業

(東京博善スタイル)を通じての

ノウハウ確立



全国への拡大

- ✓ 既存敷地外での葬儀事業  
(広済堂スタイル)の進出
- ✓ 葬儀場REITによる  
スピーディな拡大

②

年間70~100万人の

来場者



会員組織化

- ✓ 相続対策
  - ✓ 遺族へのメッセージ
  - ✓ 相続税申告代行 ...etc.
- ⇒ DBを使った取組み

③

東京博善スタイル

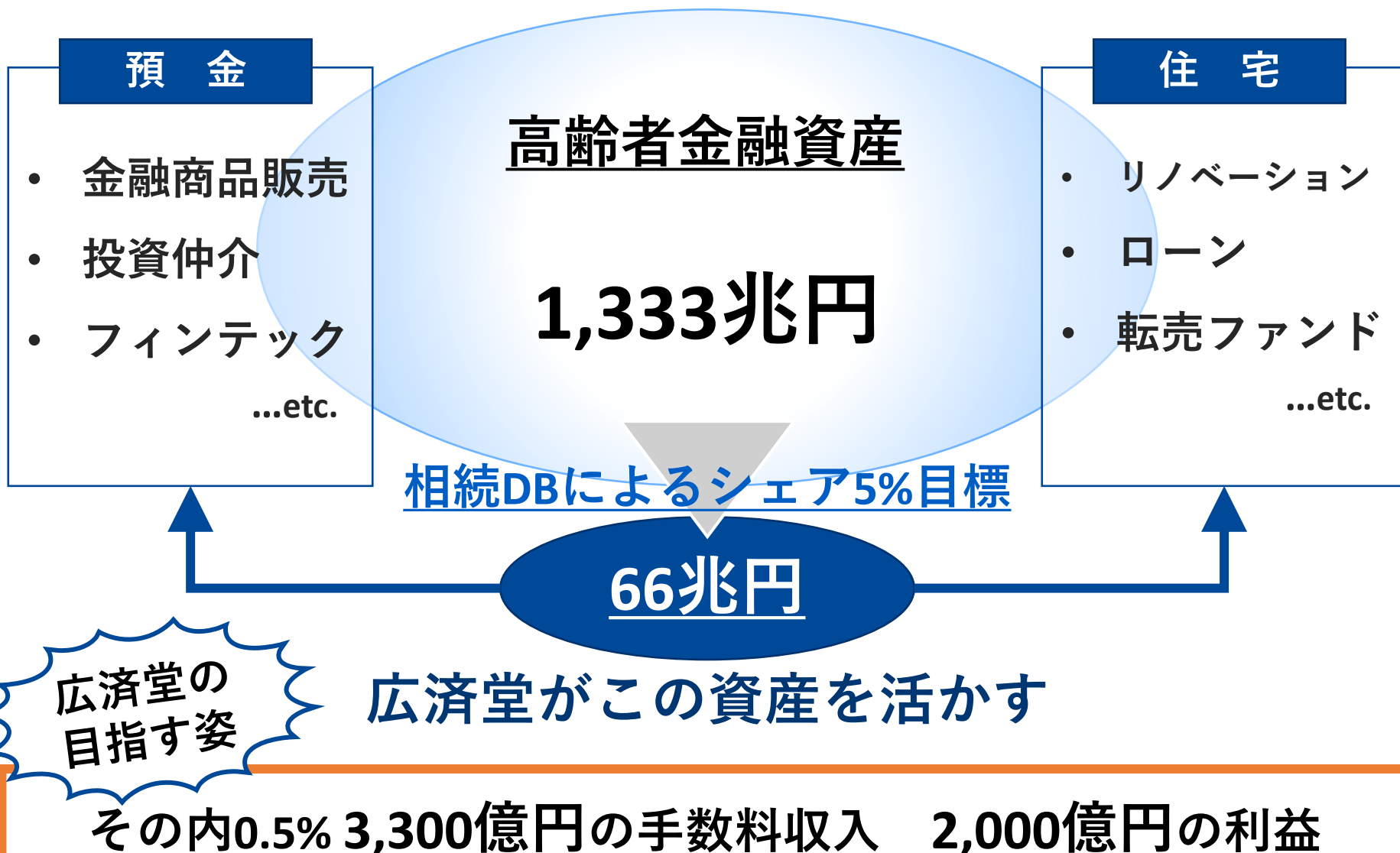
(火葬+葬祭の同一立地)



他自治体に提案

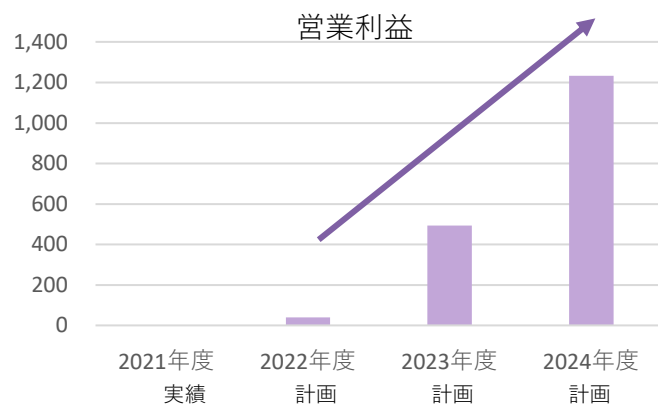
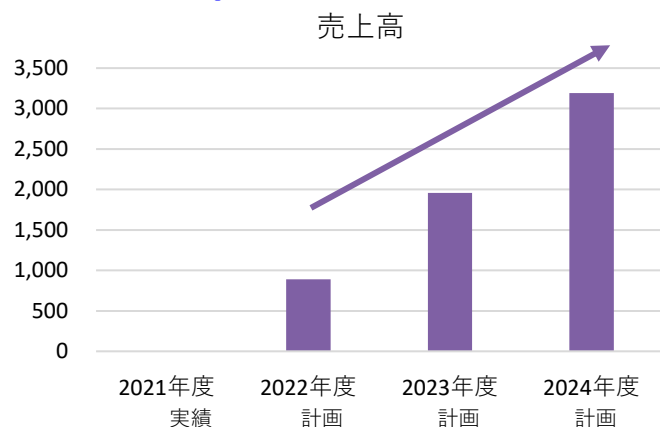
- ✓ 火葬場の賃貸業REIT化
- ✓ 東京博善スタイル葬儀を  
他県にも広げる

## 4-03 葬祭セグメントの長期展望③



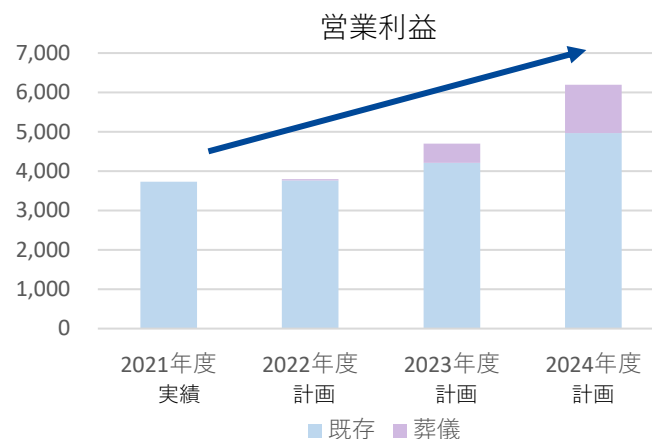
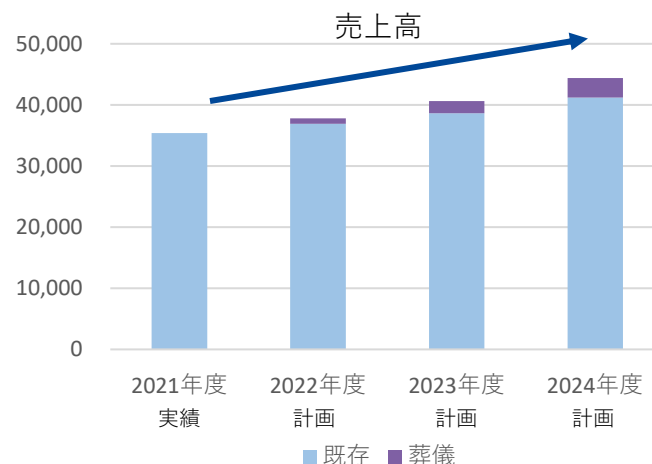
# 5-01 成長イメージ | 中期経営計画2.0

## ■ 既存敷地内 葬儀ビジネス



## ■ 広濟堂グループ

単位：百万円



既存敷地外葬儀ビジネスの立ち上がり等に応じ、上方修正の都度改めて中期経営計画2.1、2.2...として開示してまいります

## 6-01 財務計画 | 連結

単位：百万円

	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画
当期純利益	△2,671	854	3,643	2,950	3,750	4,800
EBITDA	4,594	3,980	5,501	5,600	6,700	8,200
期末総資産	82,190	64,592	73,736	72,000	73,000	74,500
成長投資	-	-	-	3,050	1,500	2,000
キャッシュ期末残高	25,727	13,093	21,597	16,597	14,897	13,647
期末有利子負債*	27,995	24,982	28,301	24,350	22,300	17,800
自己資本比率	37.6%	48.8%	50.7%	55.1%	58.4%	65.5%
負債圧縮額*	△8,037	3,013	△3,319	3,951	2,050	4,500
目標配当金額	-	-	-	443	1,125	1,440
目標配当性向	-	-	-	15%	30%	30%

\*... こちらの有利子負債には、借入金および社債のみが含まれます

## 6-02 ごあいさつ

---

当社グループは、長らく減損処理による不採算事業の整理に取り組んでまいりました。その事は、当社の時価総額がPBR1倍を下回る状況を招き、株主様には長らく忍耐をいただき、ご支援を賜ってまいりました。

2020年に発表させていただいた広濟堂大改造計画においては、不採算事業整理と事業構造改革をお約束してまいりましたが、この度、計画を前倒し達成する事が出来ました。

これもひとえに株主様はじめ、皆さまのご支援の賜物でございます。深く御礼申し上げます。

御礼とともに、新たに広濟堂が成長へと飛躍し、また復配と更なる配当の増額、株主還元の向上へと、株価向上に向けて本格的、具体的に踏み出します事を宣言させていただきます。

本中期経営計画の達成、また長期的な飛躍をより大きくしてゆくための取り組みをいよいよ開始させていただきます。

これまで以上に、各位のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

2022年5月20日

広濟堂ホールディングス 代表取締役社長 黒澤洋史

## 7-01 葬祭事業の伸長①

### 東京博善 既存サービス | 2022年度売上計画

単位：百万円

売上高	2019年度 実績	2020年度 実績	前年比	2021年度 実績	前年比	2022年度 計画	前年比	前年比/日
売上高合計	8,736	8,333	95.4%	9,347	112.2%	9,743	104.2%	103.0%
火葬料	4,258	4,524	106.2%	5,332	117.9%	5,441	102.0%	100.9%
その他	4,478	3,809	85.1%	4,015	105.4%	4,302	107.1%	105.9%
営業日数	303.0日	302.9日	100.0%	311.4日	102.8%	315.0日	101.1%	101.1%

主要KPI	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 計画	前年差	前年比	前年比/日	前年差/日
火葬件数	59,822件	62,199件	66,027件	67,300件	1,273件	101.9%	100.8%	1.6件
式場件数	10,483件	9,862件	10,495件	10,900件	405件	103.9%	102.7%	0.9件
休憩室件数	31,001件	26,196件	30,940件	31,900件	960件	103.1%	101.9%	1.9件



## 7-02 葬祭事業の伸長②

### 東京博善 既存サービス売上高 | 2019年度～2024年度

単位：百万円

売上高	2019年度 実績	2020年度 実績	前年比	2021年度 実績	前年比	2022年度 計画	前年比	2023年度 計画	前年比	2024年度 計画	前年比
売上高合計	8,736	8,333	95.4%	9,347	112.2%	9,743	104.2%	10,041	103.1%	10,482	104.4%
火葬料	4,258	4,524	106.2%	5,332	117.9%	5,441	102.0%	5,645	103.7%	5,946	105.3%
その他	4,478	3,809	85.1%	4,015	105.4%	4,302	107.1%	4,396	102.2%	4,536	103.2%
営業日数	303.0日	302.9日	100.0%	311.4日	102.8%	315.0日	101.2%	317.0日	100.6%	332.0日	104.7%

※参考

23区死亡者数	死亡者数
2020.3-2021.2	83,217人
2021.3-2022.2	87,538人
前年比	105.2%

## 7-03 葬祭事業の伸長③

### 東京博善 新規サービス | 2022年度～2024年度

単位：百万円

新規サービス合計	2021年度 実績	2022年度 計画	前年差	2023年度 計画	前年差	2024年度 計画	前年差
売上高	0	227	227	794	567	1,118	325

#### 売上内訳：東京博善 新規サービス<葬儀周辺>

単位：千円

サービス内容	項目	2022年度 計画	2023年度 計画	前年差	2024年度 計画	前年差	3カ年累計
納棺	売上高	5,700	11,100	5,400	12,000	900	28,800
食事	売上高	60,480	188,160	127,680	226,560	38,400	475,200
返礼品	売上高	15,648	35,328	19,680	41,472	6,144	92,448
花	売上高	2,340	7,560	5,220	9,360	1,800	19,260
僧侶	売上高	13,500	36,000	22,500	47,520	11,520	97,020
位牌	売上高	7,800	19,520	11,720	47,040	27,520	74,360
斎場アテンダー	売上高	3,300	11,040	7,740	14,880	3,840	29,220
棺・ドライ・仏衣	売上高	12,120	35,520	23,400	49,280	13,760	96,920
レンタル	売上高	0	8,900	8,900	14,400	5,500	23,300
エンバーミング	売上高	0	17,600	17,600	38,400	20,800	56,000
<b>合計</b>	<b>売上高</b>	<b>120,888</b>	<b>370,728</b>	<b>249,840</b>	<b>500,912</b>	<b>130,184</b>	<b>992,528</b>

※次スライドに、売上内訳：東京博善 新規サービス<アフターサービス他>が続きます

## 7-04 葬祭事業の伸長④

売上内訳：東京博善 新規サービス＜アフターサービス他＞

単位：千円

サービス内容	項目	2022年度 計画	2023年度 計画	前年差	2024年度 計画	前年差	3か年累計
法事・法要	売上高	10,800	38,400	27,600	62,400	24,000	111,600
粉骨・リサイズ	売上高	3,276	5,760	2,484	10,800	5,040	19,836
預骨	売上高	495	2,376	1,881	4,104	1,728	6,975
散骨	売上高	0	10,000	10,000	14,400	4,400	24,400
永代供養	売上高	6,600	26,200	19,600	37,200	11,000	70,000
仏壇仲介	売上高	6,600	43,200	36,600	67,200	24,000	117,000
お墓	売上高	7,920	129,600	121,680	201,600	72,000	339,120
相続・遺言 ・遺産整理	売上高	28,800	24,000	△ 4,800	62,400	38,400	115,200
広告サービス	売上高	41,580	63,360	21,780	77,088	13,728	182,028
イベント	売上高	0	80,000	80,000	80,000	0	160,000
<b>合計</b>	<b>売上高</b>	<b>106,071</b>	<b>422,896</b>	<b>316,825</b>	<b>617,192</b>	<b>194,296</b>	<b>1,146,159</b>

## 7-05 葬祭事業の伸長⑤

### 東京博善 式場増設

単位：百万円

式場増設	2022年度 計画	前年差	2023年度 計画	前年差	2024年度 計画	前年差
売上高	0	0	341	341	951	610
売上原価	0	0	111	111	164	53
売上総利益	0	0	230	230	787	557
販売管理費	0	0	15	15	42	27
営業利益	0	0	215	215	745	530
変動費	0	0	4	4	10	6
固定費	0	0	107	107	154	47
限界利益	0	0	337	337	941	604

## 7-06 葬祭事業の伸長⑥

### 新体制により、2021年度実績に以下を上積みします

#### ■ 葬儀ビジネス

単位：百万円

	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	890	1,960	3,190
粗利	475	970	1,840
営業利益	40	490	1,230

式場増設 |



東京博善

葬儀施行 |



広濟堂ライフウェル



グランセレモ東京

## 8-01 事業セグメントサマリ (既存3事業)

単位：百万円



### 葬祭セグメント

- ✓ 高齢化による自然増収
- ✓ 友引、早朝、夕方の営業時間延長

	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	9,970	10,835	11,600
営業利益	3,340	3,480	3,880



### 情報セグメント

- ✓ 減損終了！
- ✓ 安定した印刷を着実に伸ばします

	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	19,570	19,680	19,770
営業利益	1	80	140



### 人材セグメント

- ✓ 特定技能ビザ事業
- ✓ HRテック「タレントクリップ」
- ✓ 着実な営業、Webサイト改良

	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	7,370	8,125	9,840
営業利益	110	400	700

### 既存3事業合計

(※営業利益には「調整額等」を含む)

	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	36,910	38,640	41,210
営業利益	3,760	4,210	4,970

## 9-01 まとめ

単位：百万円

		2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画
既存3事業	売上高	36,195	35,088	31,497	35,361	36,910	38,640	41,210
	営業利益	2,250	2,328	2,017	3,729	3,760	4,210	4,970
葬儀事業	売上高	0	0	0	0	890	1,960	3,190
	営業利益	0	0	0	0	40	490	1,230
合計	売上高	36,195	35,088	31,497	35,361	37,800	40,600	44,400
	営業利益	2,250	2,328	2,017	3,729	3,800	4,700	6,200
	経常利益	1,637	2,210	1,823	3,610	3,700	4,800	6,300
	税前利益	499	△1,289	349	3,627	3,690	4,800	6,300
	法人税	493	731	△486	17	740	1,050	1,500
	親会社株主に 帰属する 当期純利益	△324	△2,671	854	3,643	2,950	3,750	4,800
配当	配当金額	-	-	-	-	443	1,125	1,440
	配当性向	-	-	-	-	15%	30%	30%

A decorative blue background on the left side of the slide, featuring several overlapping circles of varying shades of blue. A large, white, bold letter 'A' is centered within one of the circles.

**A**

## **Appendix**



## A-01 環境認識 | 外部

### 葬祭セグメント

- 高齢者人口増加により葬儀件数は増加傾向。一方、葬儀の簡素化が進み単価は下落傾向
- 葬儀業の参入障壁なく、近年は他業種からの参入有、価格の明瞭化、低価格化が進行  
また、世帯の在り方や生活慣習の変化に伴い、葬儀形式の多様化が進む
- 火葬業：火葬場保有に自治体の許可が必要であり、参入障壁が高い

### 情報セグメント

- 出版印刷はメディアの多様化・電子媒体の普及等により長期的な縮小  
商業印刷は広告費の減少やweb媒体への移行に伴い緩やかな縮小
- 販促支援：広告費減に伴い縮小傾向も、デジタルプロモーション、DMは堅調
- BPO：ECや企業の外部委託需要の増加に伴い、市場拡大傾向
- コロナ禍等による外部環境変化対応に向けたDX推進は本格化、ITサービス市場は回復傾向

### 人材セグメント

- 労働市場の流動化、国内の人手不足の深刻化により人材サービス事業は拡大基調
- 都市部と地方のデジタル対応力に格差。地方において今後もDXへの投資が見込まれる  
HRテック：採用や人事戦略におけるコスト削減やスピード・質の向上を図る企業が増加
- 人材紹介・人材派遣：規制緩和・企業の求人意欲の上昇を背景に長期的には拡大傾向も
- 直近ではCOVID-19の影響によりサービス・小売・製造業などが大きく需要減
- 海外人材：需要増もコロナ禍により停滞。規制緩和により対象領域が拡大

## A-02 環境認識 | 内部

### 葬祭セグメント

- 都内6火葬場・斎場保有。シェアの優位性を背景に火葬取扱件数は増加傾向も、葬儀の簡素化傾向による単価下落の傾向
- 火葬料金の改定のほか、営業時間の拡大等により売上高を確保
- 建物・設備の修繕、減価償却費、人件費増等による収益の圧迫が懸念
- 葬祭業界全体のプレゼンス向上、イメージ改善に向けたブランディングに着手

### 情報セグメント

- 出版印刷を中心に印刷事業は縮小傾向。小ロット・多品種化が進み、収益性が低下
- 印刷事業において、工場再編、人員合理化により固定費を圧縮
- M&AによりITサービス開発会社を取得。IT事業・デジタルマーケティングとの連携を強化
- BPOは官公庁案件が堅調。D2C支援など民間企業へもBPOサービスを拡充・拡大

### 人材セグメント

- 主力の求人メディアは紙媒体の落ち込みに伴い需要減  
採用管理システムなどHRテックやweb媒体を軸としたビジネスモデルへ移行
- COVID-19の影響により、人材需要の落ち込み、不安的化。サブスクリプション型サービス鈍化
- 東北・北陸・東阪・ベトナムの各拠点の顧客基盤と企業ブランドを活かし、求人・紹介・派遣・請負・研修・教育・HRテックの多様なソリューションを基にアップセルを図る

# A-03 会社案内

## 会社概要

会社名	株式会社広濟堂ホールディングス (英訳名：KOSAIDO Holdings Co., Ltd.)
創業	1949年1月
資本金	24億円
代表者名	代表取締役社長 黒澤洋史
市場情報	東京証券取引所プライム市場 (7868)
本社所在地	東京都港区芝浦1-2-3 シーバンスS館13F
従業員数 (連結)	1,063人 (2022年3月末現在)
取引銀行	三井住友銀行 みずほ銀行 三菱UFJ銀行 りそな銀行 横浜銀行 静岡中央銀行 武蔵野銀行 きらぼし銀行 三井住友信託銀行

## 沿革

1949年 (昭和24年)	櫻井膳写堂を創業
1954年 (昭和29年)	有限会社桜井広濟堂設立 (のちの廣濟堂印刷株式会社)
1957年 (昭和32年)	有限会社桜井広濟堂大阪支店発足 (のちの株式会社関西廣濟堂)
1992年 (平成4年)	株式会社関西廣濟堂が大阪証券取引所市場第二部上場
1997年 (平成9年)	廣濟堂印刷株式会社が東京証券取引所市場第二部上場
1999年 (平成11年)	廣濟堂印刷株式会社と株式会社関西廣濟堂が合併、 株式会社廣濟堂に社名変更
2000年 (平成12年)	東京・大阪証券取引所市場第一部に株式を上場
2021年 (令和3年)	ホールディングス体制に移行
2022年 (令和4年)	東京証券取引所プライム市場へ移行

## 企業価値の最大化に向けたホールディングス体制への移行

当社グループは、2021年10月1日に、ホールディングス体制に移行いたしました。グループのさらなる成長加速および事業拡大、そしてより強固な収益基盤を構築し企業価値向上を目指します。

### 移行の目的

- ①個別事業の専鋭化と競争力強化
- ②グループシナジーの追求と経営資源の最適化
- ③グループ経営機能の強化
- ④権限と責任の明確化による意思決定の迅速化



# A-04 広濟堂グループの事業




人生100年を  
もっと豊かに。



## 広濟堂ホールディングス

KOSAIDOはグループの力を結集し、  
「情報ソリューション事業」「人材サービス事業」  
「エンディング関連事業」の3つの事業領域から  
人々の人生100年を総合的に支援。  
より良い環境、豊かな生活、そして希望に満ちた社会を  
この先の未来に実現する革新的な  
サービスの創出にチャレンジします。

### 情報ソリューション事業

-  広濟堂ネクスト
-  威海廣濟堂京友包装
-  x-climb

[主な事業内容]  
オフセット印刷(出版・商業)  
新聞印刷  
デジタル印刷  
パッケージ印刷  
IT・デジタルソリューション  
キャンペーンソリューション  
D2Cビジネス支援  
デジタルプロモーション支援  
BPOサービス  
展覧会ビジネス






### 人材サービス事業

-  広濟堂HRソリューションズ
-  広濟堂ビジネスサポート
-  キャリアステーション
-  共同システムサービス
-  ファインズ
-  エヌティ
-  KOSAIDO HR VIETNAM
-  タレントアジア

[主な事業内容]  
求人メディア  
求人媒体代理店  
環境情報誌発行  
フリーペーパーラック取次  
人材派遣  
人材紹介  
海外人材サービス  
人材育成・教育・研修  
HR Techサービス  
RPOサービス



### エンディング関連事業

-  東京博善
-  広濟堂ライフウェル
-  グランセレモ東京

[主な事業内容]  
火葬場運営・式場提供  
葬儀サービス  
エンディング関連ビジネス



# A-05 広濟堂グループ°SDGs宣言

私たちは「広く社会に貢献する」  
企業理念の実現のための行動を  
起こすべく、

「SDGs」に貢献する

4つのマテリアリティを定めました。

希望ある未来を創造するため、  
社員も含めたステークホルダーの  
皆さまとともに、

“iDO”を社会課題解決の実現という  
“DO”につなげてまいります。



## 経済

広くささえる

サステナブルな経済活動への価値創造  
目まぐるしく変化する世情の中においても、わた  
したちのDNAである「広濟(広く社会に貢献する)」  
の名のもと、サステナブルな経済活動のイノベ  
ーターとなり、既成概念に捉われない柔軟性で共創  
価値を創造します。



## 社会

ともに生きる

公平で多様性のある地域社会の発展

これからの「人生100年時代」に、誰もが自分  
らしい生き方を選ぶことができるよう、“思い  
やりファースト”で地域社会のファシリテ  
ーターとなり、身も心も自由なライフスタイルを  
実現します。



未来を+にする会社

## 環境

未来をまもる

環境負荷軽減による美しい地球の継承  
次世代を生きる子どもたちや生き物が共存できるよ  
う、地球のライフセーバーとなり、温暖効果ガスの  
削減や生態系の保全に努め、パートナーとの連携で  
更なる環境リスク軽減を目指します。



## 企業文化

笑顔でつながる

透明性と対話のある健全な企業経営

法令遵守はもとより、誰ひとり取り残さないSDGsの普遍的  
価値に基づく「人権尊重」「ジェンダー平等」「女性  
のエンパワーメント」推進によって、一人ひとりがム  
ードメーカーとなり、働きがいある職場づくりとコミュニ  
ケーションにあふれる企業文化を守り続けます。



## A-06 連結経営指標の推移

単位：百万円

	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画
売上高	35,088	31,497	35,361	37,800	40,600	44,400
営業利益	2,328	2,017	3,729	3,800	4,700	6,200
経常利益	2,210	1,823	3,610	3,700	4,800	6,300
親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失	△ 2,671	854	3,643	2,950	3,750	4,800
1株当たり当期純利益又は当期純損失（円）	△ 107.23	34.28	149.09	103.40	131.44	152.24
潜在株式調整後1株当たり当期純利益（円）	—	—	132.79	98.33	123.64	—
売上高営業利益率（%）	6.6	6.4	10.6	10.1	11.6	14.0
自己資本利益率（%）	—	2.7	11.2	7.7	9.1	10.5
総資産利益率（%）	—	1.2	5.3	4.0	5.2	6.5
純資産額	31,001	31,622	37,520	39,800	42,700	48,800
総資産額	82,190	64,592	73,736	72,000	73,000	74,500
有利子負債	27,995	24,982	28,301	24,350	22,300	17,800
自己資本比率（%）	37.6	48.8	50.7	55.1	58.4	65.2
1株当たり純資産額（円）	1,239.58	1,264.78	1,331.60	1,394.25	1,495.84	1,546.95
営業キャッシュフロー	3,976	3,110	3,660	2,950	3,950	5,050
投資キャッシュフロー	△ 1,354	56	△ 700	△ 3,600	△ 2,600	△ 2,800
財務キャッシュフロー	7,477	△ 15,838	5,540	△ 4,350	△ 3,050	△ 3,500

# A-07 単体経営指標およびセグメント別業績の推移

## ・単体経営指標

単位：百万円

	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画
資本金	1,000	1,001	2,478	2,478	2,478	4,932
発行済株式総数（株）	24,922,600	24,925,300	28,537,769	28,529,643	28,529,643	31,529,643
純資産額	672	2,088	7,871	10,500	12,600	17,400
総資産額	34,844	32,343	37,089	35,800	35,800	36,200
有利子負債	26,764	24,532	28,253	24,300	22,300	17,800
自己資本比率（%）	1.9	6.5	21.2	23.6	19.7	28.3
1株当たり純資産額	26.99	83.84	275.54	368.04	441.65	551.86
1株当たり配当額（円）	—	—	—	15.5	39.4	45.6
配当性向（%）	—	—	—	15	30	30

## ・セグメント別業績

		2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画
情報セグメント	売上高	19,544	18,496	19,120	19,570	19,680	19,770
	営業利益	5	163	377	1	80	140
人材セグメント	売上高	6,791	4,663	6,856	7,370	8,125	9,840
	営業利益	207	△ 65	341	110	400	700
葬祭セグメント	売上高	8,735	8,333	9,384	10,860	12,795	14,790
	営業利益	2,564	2,437	3,083	3,380	3,970	5,110
調整額	営業利益	△ 442	△ 519	△ 73	309	250	250
合計	売上高	35,088	31,497	35,361	37,800	40,600	44,400
	営業利益	2,328	2,017	3,729	3,800	4,700	6,200

注：2019年度実績合計には「その他」セグメントの売上高12百万円、営業利益2百万円を含む



人生100年をもっと豊かに



KOSAI DO GROUP

広済堂ホールディングス

<https://www.kosaido.co.jp/>